

UNICEF Caravan Campaign 2025

鳥取県教育長
足羽 英樹 様

このたびは、ユニセフ・キャラバン・キャンペーンをお受け入れいただき、厚く御礼申し上げます。

いま、紛争や気候変動をはじめとした様々な課題が複雑に絡み合い、世界中の子どもたちの暮らしに深刻な影響を与え、多くの子どもたちの健やかな成長や教育の機会を脅かしています。

ユニセフは「子どもの権利条約」を基盤に活動し、すべての子どもがその権利を守られ、生まれもった能力を十分に伸ばして成長できることこそが、「持続可能で住みやすい世界」の礎となると考えています。子どもたちが今を生き、日々成長するための支援は、わたしたちの喫緊の責務です。

日本では、「こども基本法」や「こども大綱」、「こども計画」の策定を背景に、「子どもの権利」を推進する機運が高まっています。日本ユニセフ協会は、キャラバン・キャンペーンを通して、「子どもの権利」の理解を促進するとともに、子どもたちに、地球規模的な視野で様々な課題について考え、協力して行動することの大切さを伝えます。

今年ユニセフ学校募金は 70 回目の節目の年を迎えました。この募金活動は、ユニセフの支援を受けた子どもたちがお礼の手紙に 10 円玉を添えたことからはじまりました。日本の子どもたちがつないできたこの募金活動の意義を再認識し、これからも日本と世界の子どもたちのために活動を続けてまいります。今後もユニセフ事業に対し、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2025 年 10 月 20 日

公益財団法人 日本ユニセフ協会

会 長 高須幸雄

